

## 予算委員会 委員長報告

今期定例会において予算委員会へ付託になりました議案 16 件につきまして、3 月 5 日、23 日及び本日、委員会を開催し、審査を行いましたので、ご報告申し上げます。

初めに、3 月 5 日に行われました総括質疑の主なものをご報告いたします。

一般会計に関連するものとしては、市債の発行額が 10 億円近く減額となる一方、令和元年度に続き、歳出規模が 1,000 億円になっていることなどの主な要因についての質疑に対し、第 2 次総合戦略に基づく事業に加え、大規模整備事業、また国の防災・減災、国土強靱化対策に対応した事業を積極的に計上したことによるものである。国庫補助金を最大限に活用することができたことで、市債の減額につながったものと考えている。などの答弁があり、また、ふるさと納税、企業版ふるさと納税などの体制強化に対する考え方についての質疑に対し、松江市のふるさと納税の実績額は中海・宍道湖・大山圏域 5 市の中で最も少額である。その要因としては、情報発信力の不足、魅力ある返礼品の品ぞろえ不足などが考えられる。来年度は、積極的な PR に取り組むとともに、事業者と協力して、魅力ある返礼品の開発に取り組んでいく考えである。

企業版ふるさと納税については、第 2 次総合戦略に基づく新規事業が新たに対象事業になったので、現在、内閣府に地域再生計画の申請をしているところである。3 月中には認定を受け、市外企業へふるさと納税の制度、メリットなどを積極的に PR し、ふるさと納税につなげていきたいと考えている。など答弁がありました。

財政調整基金などの取り崩しについての質疑に対し、退職手当の増額に伴い、年度間調整のため財政調整基金の取り崩しを例年より増額し、8 億円を計上しているが、予算執行の段階で経費節減に努めることで財源を生み出し、決算ではなるべく取り崩し額を少なくするよう努めていく。

財政調整基金、減債基金の合計残高が令和 2 年度は一時的に減少する見込みであるが、その後は 50 億円程度を維持することとしており、事業計画と歳入歳出のバランスを図りながら財政運営を行っていき

いと考えている。など答弁がありました。

「選ばれるまち 松江」の実現に向けた人財育成ワーキンググループによる成果、今後の取り組みについての質疑に対し、ワーキンググループから5つの事業提案があった中で、子育てAIコンシェルジュ事業について内閣府と協議を行い、地域少子化対策重点推進交付金を活用して予算化した。先進事例の調査や、財源確保のための国との協議などの経験を積ませて、政策提言ができる人材を育成していきたいと考えている。など答弁がありました。

市税等の収納率向上、滞納整理等への取り組みや課題についての質疑に対し、平成14年4月に松江市市税等滞納整理対策本部会議を設置し、滞納整理に関する進行管理や徴収に関する研修等を実施している。非強制徴収公債権及び私債権について各債権所管課間で情報共有ができる仕組みがないこと、また、一部の債権においては生活困窮のため返済ができず、収入未済額がふえていることなどが課題である。新たな取り組みとしては、松江市債権管理条例の制定による各債権所管課間での情報共有や、本年4月から市税、国民健康保険料、水道料金、下水道使用料においてスマートフォンを利用したキャッシュレス決済の導入などを予定している。など答弁がありました。

合併にかかわる交付税の削減についての質疑に対し、地方交付税の合併算定がえの縮減額は、国が合併市町村特有の財政需要を考慮して、追加財政需要を計上したことにより、当初の見込み額57億円に対し、半分程度の約29億円にとどまるものと推計している。との答弁がありました。

各企業会計については、水道事業会計に関連するものとして、費用縮減のための広域化と、旧簡易水道への国の支援継続の現状についての質疑に対し、本年3月、県による広域化推進プラン策定会議が設置されることとなったことから、県をサポートしつつ、下水道事業の広域化も視野に入れながら検討を進めていきたいと考えている。旧簡易水道への国支援の拡充継続については、全国の日本水道協会、簡易水道協議会の各県支部へ働きかけた結果、13府県の賛同を得て、昨年7月に共同で国へ要望活動を行った。本年2月にはこの課題に関する総務省の研究会も発足したところである。これらの動向も注視をしつつ、関係団体、本県はじめ関係府県等とも連携して、国の支援制度確立に向け効果的な要望活動を行

継続的に展開していきたいと考えている。との答弁がありました。

ガス事業会計に関連するものとしては、ガスの普及促進、営業活動についての質疑に対し、マンションなどの大型物件への営業活動や、団地単位の戸建て住宅に対し、既存の顧客の継続利用や新規顧客の獲得を目指した営業活動を行っており、今年度は民間マンションをはじめとして11件の大型物件の成約やガス機器の更新の促進の成果があった。しかし、人口減少や他エネルギーへの転換などにより、ここ10年で都市ガスの供給区域内普及率は5.7%減少して、現在29.5%になっている。こうした状況の中で、都市ガス利用者全体の底上げが肝要と考えており、今後、市職員など特定の顧客に特化した営業活動を、機会を見て行っていきたいと考えている。との答弁がありました。

次に各議案審査について、ご報告申し上げます。

議第95号「令和2年度 松江市 一般会計 予算」は、質疑はなく、討論では、一委員より、「子ども医療費助成、通学路のブロック塀の撤去等への補助金制度の創設、特定空き家解体補助 制度の創設などが予算に盛り込まれたことは大いに評価をするが、原発交付金の使途が、人件費など経常経費に充てられていること、保育所・児童クラブの待機児童解消が追いついていないこと、全国学力テストは、真の学力の育成にはつながらないこと、特定の市民団体を優遇する補助金算定の格差、国のマイナンバーカード普及拡大に従う予算であること、以上の理由で、反対する。」

また、一委員より、「積極的な事業展開による予算編成である。公共事業の推進は、近年に増して予算化されているほか、教育施設整備にも重点的に配分され、子育て支援、福祉部門、健康推進などに新規事業、また観光振興など多面的に組み込まれている。地方創生、総合戦略としても期待できる事業、予算として評価し、賛成する。」

また、一委員より、「合併算定がえの縮減による地方交付税の減額に対し、財政調整基金の取り崩しや臨時財政 対策債などで補うなど、工夫した歳入計画となっている。歳出では、第三子以降の保育料などの無料化や子ども医療費助成の対象の拡充、子育てAI コンシェルジュ事業など、子育て世代の定住化につながると評価する。大規模災害対策のため、道路、河川の整備事業や、地域防災強化の予算が

組まれている。観光振興では、国内観光の誘客にもさらに注力し、入り込み客数 1,000 万人、宿泊客数 250 万人を達成できるよう期待をしている。森林環境譲与税が大幅増額で計上されており、今後、計画的に森林整備に取り組んでいただくことを期待している。環境政策では、新たに環境基本計画改定の予算が組まれている。速やかな事業執行をお願いし、賛成する。」

また、一委員より、「様々な創意工夫で財源を確保され、歳出において、昨年以上の 1,000 億円を超える予算規模となった。将来の松江市に対して高い責任感と役割を背負って、国の令和元年度 補正予算に呼応した 15 ヶ月予算でしっかりと市政運営に臨んでいただくことを願い、賛成する。」との意見があり、採決の結果、議第 95 号は、賛成多数により原案可決すべきものと決しました。

議 第 96 号「令和 2 年度 松江市 国民健康保険事業 特別会計 予算」は、質疑はなく、討論では、一委員より、「保険料の据え置きと、人間ドックの自己負担の大幅軽減は大変評価をするが、基金は人間ドックの補助だけでなく、均等割の減免や医療費窓口負担の軽減を求める市民の声に応えるべきであり、反対する。」

また、一委員より、「人間ドックの自己負担軽減や禁煙外来治療費への助成など保健事業を拡充し、市民の健康維持に向けた取り組みで医療費を抑制する姿勢を評価し、賛成する。」また、一委員より、「国保事業の推移や、安定的な国保事業会計の運営をしていくためには提案された予算で国保事業を行うことがベターであると考え、賛成する。」との意見があり、採決の結果、議第 96 号は、賛成多数により原案可決すべきものと決しました。

議第 98 号「令和 2 年度松江市後期高齢者医療保険事業特別会計予算」は、質疑はなく、討論では、一委員より、「75 歳以上になると、独立した保険に加入することになり、高齢者にとっては重い負担となっている。滞納すると短期証が発行され、差押えも行われている。本来の老人保険制度に戻すべきであり、反対する。」

また、一委員より、「世代間や保険者間の公平性の観点から、賛成する。」との意見があり、採決の結果、議第 98 号は、賛成多数により原案可決すべきものと決しました。

議第 99 号「令和 2 年度松江市介護保険事業特別会計予算」は、質疑はなく、討論では、一委員より、「保険料は、介護保険のスタート時の 2 倍以上となっている。未納者が増え、差押えも大幅に増えている事態を解消するためには基金の取り崩しや一般会計からの繰り入れを行うべきであり、反対する。」

また、一委員より、「平等な負担で公平な介護サービスを維持していく観点から、賛成する。」との意見があり、採決の結果、議第 99 号は、賛成多数により原案可決すべきものと決しました。

議 第 100 号「令和 2 年度 松江市 企業団地事業特別会計予算」は、質疑はなく、討論では、一委員より、「従来の考え方から脱却し、進出を希望する企業の立場で、企業誘致、未売却地の販売をしようとする点と、今後においても早期に適切な判断を実施する試金石にもなるものとして、賛成する。」

また、一委員より、「販売単価の引き下げにより、販売促進策を示されている。しっかりと P R し、販売につなげて、地元の雇用促進につながるよう取り組みをお願いし、賛成する。」との意見があり、採決の結果、議第 100 号は、全会一致により原案可決すべきものと決しました。

議 第 104 号「令和 2 年度松江市水道事業会計予算」は、質疑はなく、討論では、一委員より、「県営水道が将来の人口や水需要を過大に見積もり、多額の投資を関係自治体が引き受けるという関係で、使わない水代まで市民は払っている。経営に努力されていること、滞納世帯へのきめ細かな対応などは評価するが、給水停止世帯が 一時的ではあっても 300 世帯以上あり、高い水道料の引き下げを求めて、反対する。」

また、一委員より、「水道の管路更新について着実に取り組まれ、有収水量の減少に対応するための予算措置となっており、賛成する。」

また、一委員より、「運営改善、健全経営のために事務の I T 化や包括委託等も進めるなど懸命な改革努力とともに、供給水量を確保するために、大口受給者の獲得に努める計画でもある。安心して安定的に供給するライフラインの維持に努める事業計画、予算であることを認めて、賛成する。」との意見があり、採決の結果、議第 104 号は、賛成多数により原案可決すべきものと決しました。

議 第 108 号「令和 2 年度松江市病院事業会計予算」は、質疑はなく、討論では、

一委員より、「地産地消を推進するために、病院給食を直営に切り替えることは大いに評価をするが、時間外選定療養費と初診時選定療養費の徴収は、市民が安心してかかれる自治体病院の姿勢に反する対応であり、反対する。」

また、一委員より、「質の高いサービスを提供し、市立病院の役割を明確にするとされている。51床の減少に踏み込みながら手厚い看護ケア体制をとるとされ、医業収益の増加により医業費用の増加を賄う収支計画である。適切な事業計画、予算とみなして、賛成する。」

また、一委員より、「人材定着策についてマネジメントを行い、高度急性期病院としての役割を担い、さらにはがんセンターの高度医療機器等を活用し、市民の期待に応えていただきたい。病院長の積極的な姿勢は評価をしている。賛成する。」との意見があり、採決の結果、議第108号は、賛成多数により原案可決すべきものと決しました。

議 第 85 号「令和元年度 松江市 一般会計 補正予算 第 4 号」、

議 第 97 号「令和 2 年度 松江市 宍道 国民 健康保険 診療施設事業 特別会計 予算」、

議 第 101 号「令和 2 年度 松江市 公園墓地 事業 特別会計 予算」から、

議 第 103 号「令和 2 年度 松江市 母子 父子 寡婦 福祉資金 貸付事業 特別会計 予算」、

議 第 105 号「令和 2 年度 松江市 下水道事業 会計 予算」から、

議 第 107 号「令和 2 年度 松江市 交通事業 会計 予算」、

以上、議案 8 件については、質疑、意見ともになく、採決の結果、それぞれ全会一致により原案可決すべきものと決しました。なお、各分科会における審査の内容については、お手元にお配りしております分科会長報告のとおりであります。

議 第 110 号「令和元年度 松江市 一般会計補正予算 第 5 号」は、マスクの配布状況、配布計画や繰り入れ後の財政調整基金の額、また事業者への支援等に対する考え方などについての質疑ののち討論では、一委員より、今回の迅速な対応を評価し賛成する。速やかに市民への対応をしていただきたいとの意見があり、採決の結果、全会一致により原案可決すべきものと決しました。